

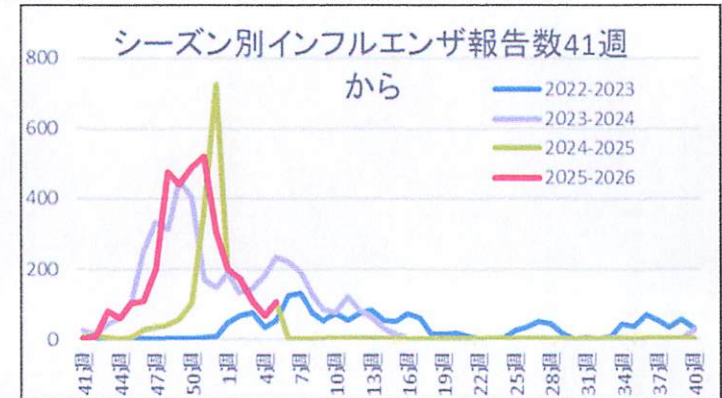
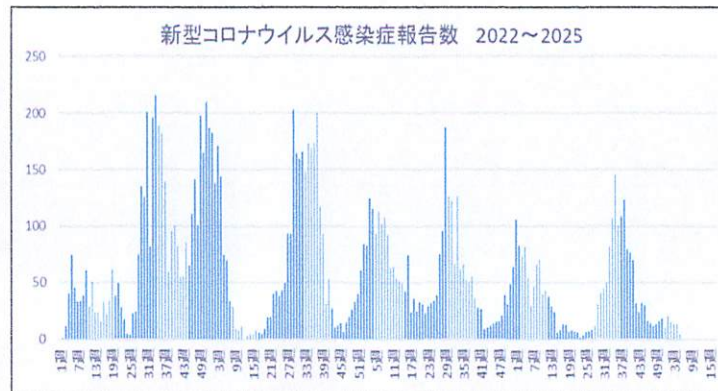
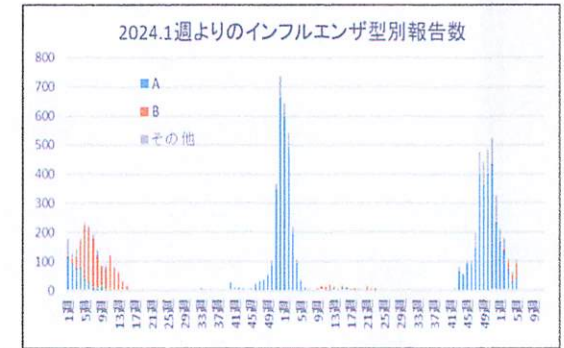
# 週間感染症情報

2026年3週～5週 2026年1月12日より2026年2月1日まで

3週 4週 5週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1	2	2
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	5	4	4
手足口病			
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑	2		2
感染性胃腸炎	25	49	37
ノロウイルス(再掲)		1	3
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹		5	3
伝染性膿痂疹(とびひ)		3	2
ヘルペス性口内炎	1	1	
アデノウイルス感染症			
RSウイルス感染症	2	7	
マイコプラズマ感染症	5	2	5
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	108	65	106
インフルエンザ A	71	29	39
インフルエンザ B	30	23	56
新型コロナウイルス感染症	14	14	5

遅くなりましたが、3～5週の3週間分の報告です。A型の報告は減少し終息しました。入れ替わりに、B型の報告が増加して、流行が立ち上がってきています。6週になり、総社市内全域で報告が増えて、学年閉鎖・学級閉鎖が出ています。幼稚園・こども園・保育園などでも流行しています。教育委員会からの報告数は5週が83例、6週が144例と急増しています。右下のグラフのように、2023-2024シーズンの流行パターンに似ています。春休みまでB型の流行が続きました。これから、入試・卒業式など大切な行事が続きます。感染予防のために、特にマスクの着用をお願いします。コロナの報告は減少しましたが、家族内感染の小児例をみかけます。クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の5～6人がり患し、1週間するとクラスの半数がり患して、2週間でクラス内の流行は終息します。寒くなって、ノロウイルスによると思われる嘔吐を主とするウイルス性胃腸炎が増えてきています。マイコプラズマ感染症の報告も続きます。発熱・咳が長引く場合は、鑑別診断にあげてください。熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )

三宅内科小児科医院 三宅真砂子